

令和 2 年度 学校経営方針

1 学校経営基本理念 勇気ある改善で「日常」を創る

(1)学校は、子どもの健全な成長のためにある

- ①学校は、子どもたちの学びの場で有り、豊かな人間性を培う場です。
- ②学校は、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成し、生きる力を育む場です。適切な距離、関係を保ちながらも、子どもらしい生活をさせます。

(2)子どもは、学校の主人公

- ①心豊かでたくましい日本人として、ひとり立ちできる子を育成します。
- ②感染症対策に教職員の叡智を結集し、児童の実態、地域の実情、学校の歴史と伝統をふまえた「学びの共同体」としての学校づくりを推進します。
- ③一人もひとりぼっちにしない、聴き合い学び合う教室を創ります。
- ④大幅に教育活動・学習計画を見直しつつ、創意工夫のある教育活動を展開し、保護者や地域の信託に応える特色ある学校づくりをすすめます。

(3)教職員は、公教育の責任を果たす

- ①教職員一人一人が学校経営に積極的に参画し、使命感をもって資質を磨き、能力を高めます。
- ②公教育の奉仕者として服務規律を遵守し、家庭や地域と連携を図りながら、職責を果たします。

2 学校の教育目標

(1)校 是 ひとり立ちできる子

(2)教育目標 自分から行動できる子の育成

3 目指す学校像

(1)目指す学校像 学びあい 支えあい 高めあい 笑顔あふれる学校

(2)目指す児童像 自分から行動できる児童

○すすんで学ぶ子

- ① 自ら課題をもち、学び続ける子
- ② 自ら考え、判断し、課題解決をめざす子
- ③ 友達と学び合い、高め合える子

○たすけ合う子

- ① 思いやりの心をもち、行動できる子
- ② お互いの立場を理解し合い、協力できる子
- ③ 集団の一員としての自覚をもち、行動できる子

○きたえる子

- ① 命を大切にし、安全な生活のできる子
- ② 自らの健康に留意し、すすんで運動できる子
- ③ 力いっぱい活動し、最後までやりとおす子

(3) 目指す教師像 優しさや厳しさや温かさで子どもを認め励ます教師 具体像

- 学び続ける教師
- 子どもに寄り添い、励まし続ける教師
- 心身ともに健康な教師
- 子どもに夢と未来を語れる教師

4 令和2年度の経営方針(危機的状況でも、本質は変えられない)

- (1) 児童が生き生きと活動し、居場所・やり甲斐・夢のある学校を創る。
- (2) 教師が専門家として学び育ち合う学校を創る。
- (3) 保護者と地域が学校運営に参画し、学び育ち合う学校を創る。

5 令和2年度の経営の重点(目の前の事実を大切に柔軟な対応を図る)

- (1) 学びあい・支えあい・高めあいを深める学校経営と学級経営の充実
- (2) 主体的・対話的な学びを深め、学習内容を定着させる授業改善の充実
- (3) 保護者や地域に信頼され、愛される、特色ある教育活動の充実

6 重点に基づく具体的な取組(危機的状況だからこそ、夢と希望を語る)

- (1) 子どもたち一人一人がよさを発揮し、ともに学びあう学校づくりの推進
 - ① めあて(夢)をもって学び続ける力や、共に学びあう力を高める指導の工夫・改善に努め、ともに伸びようとする。
 - ② 子どもたち一人一人が主役になれる場を設定し、自己有用感や成就感を高め、個性の伸長に努める。
 - ③ 「教育に関する3つの達成目標」の理念を継続した取組を充実させ、確かな学力・体力・行動力の育成に努める。
- (2) 教職員が誇りと生き甲斐を持って協働できる学校づくりの推進
 - ① 学校課題研修や現職研修の充実を図り、指導力・教師力の向上を図る。
 - ② 互いの立場を尊重し、進んで協力し、誇りと生き甲斐を持って働ける職場づくりに努める。(同僚性の構築)
 - ③ 施設設備や教材教具の充実、有効活用を行い、明るく意欲的な教育環境づくりに努める。
- (3) 地域に信頼され、愛される学校づくりの推進(一部大幅に見直しする)
 - ① 学校の教育方針や教育活動の情報を地域に発信し、地域や家庭との連携を深め、地域と共に歩む学校づくりに努める。
 - ② 学校関係者(保護者や学校運営協議会委員等)による学校評価を実施して、教育活動の改善を図り、地域の負託に応える学校づくりに努める。
 - ③ 学校応援団と連携し、地域の教育力を活用した体験活動の充実と安心・安全な学校づくりを推進する。

令和2年度 学校経営方針のポイント

- (1) 危機を乗り越え、自立と学びを保証する学校を創る。
教育活動・教育計画の大幅な見直しと勇気ある改善。
- (2) 学びの共同体としての学校づくりを推進する。
 - ① 聴き合う関係づくりの浸透 ～ケアリングへの意識化～
(子どもも家庭も支え合う協働関係づくり)
 - ② 学習方略を捉えた授業づくり ～個の学びの成立へ～
(学びの成立から学力向上へ)
 - ③ 学級組織の強化 ～支えあいと感謝の協働体制づくり～
(優しさと厳しさと温かさでけじめのある指導)
- (3) 働き方改革を断行する。
 - ① 学びの構築と他の業務の精選をセットで実施する。
(幹を貫くための枝葉の整理)
 - ② 一役一人制で業務のスリム化。各種教育活動の見直し。
(主任が責任をもち主体性・個性を発揮する仕組み)
 - ③ 授業・学級経営の充実こそが働き方改革。
(非認知能力を高める実践の追究)
 - ④ 働き方改革は、学校の質の向上が目的。
- (4) 地域と運営する「地域の学校」化を推進する。
 - ① 学校運営協議会で学校の運営を開く。
(コミュニティ・スクール)
 - ② 家庭、PTA、学校応援団と連携した学びと安全の充実
(カリキュラム・マネジメント)
 - ③ 仕組みと別途の自然な地域間交流の場の提供
(学校は地域の学び場。地域交流の場。)

新たな取組

① フッ化物洗口

東中学校区の健康教育推進



② 主体的・対話的で深い学びの追究

学習方略等の戦略的学力向上の取組



③ 中学校「立志」まで9年間を見通して